



在宅介護実態調査  
調査報告書（令和4年度）

令和5年3月 郡上市





## 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者、調査方法等	1
3. 集計・分析にあたって	1
第2章 在宅介護実態調査	5
1. 【A票】認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	5
（問1）世帯類型について、ご回答ください	5
（問2）ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか	5
（問3）主な介護者の方の年齢について、ご回答ください	5
（問4）ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか	7
（問5）今後の在宅生活の継続のために必要と感じる支援・サービスについてご回答ください	8
（問6）現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください	9
2. 【B票】主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目	10
（問1）主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください	10
（問2）主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか	10
（問3）主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか	12
（問4）主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	13
（問5）現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください	14
3. 【C票】主な介護者様にご回答・ご記入頂く項目	16
（問1）介護サービスや制度の情報についてどこから入手していますかまたは入手しやすいですか	16
資料編 アンケート票	19





第1章  
調査の概要





## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

在宅介護実態調査は、要支援・要介護の認定を受けて、居宅で暮らしている高齢者を対象としています。介護サービスの利用状況や介護者の勤労実態等をアンケート形式で把握し、郡上市における今後の介護保険運営のために策定する「郡上市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の基礎資料とすることを目的としています。

### 2. 調査対象者、調査方法等

調査対象者	要支援・要介護の認定を受けて、居宅で暮らしている高齢者 ➤ 更新申請・区分変更申請にかかる認定調査を受ける人を抽出
調査方法	介護認定調査員による聞き取り調査
調査期間	令和4年2月1日～令和5年1月31日
回収結果	回収数 519

### 3. 集計・分析にあたって

(1) 回答の比率は、その設問の回答対象者数（N）を基数として算出しています。そのため、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。

(2) 回答率（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。この関係で、単数回答の場合であっても比率の合計が100%にならない場合があります。

### 4. グラフ上の表記について

本調査報告書においては、郡上市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定するために実施した調査（令和元年度実施）および郡上市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定するために実施した調査（令和4年度実施：本調査報告書）にかかるデータについては、前者を「R1」または「R1 調査」、後者を「R4」または「R4 調査」と表記しています。





第2章  
在宅介護実態調査



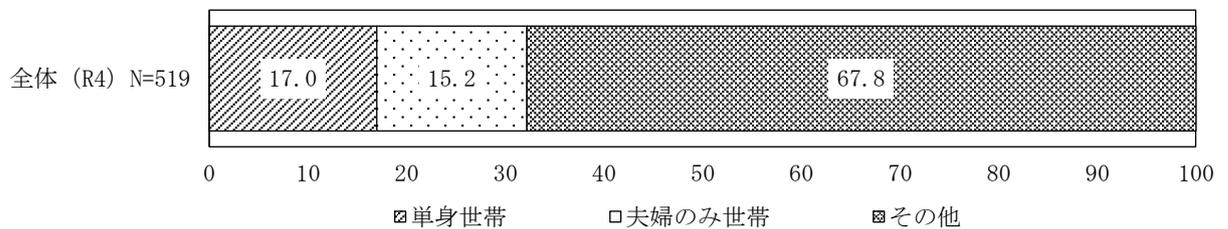


## 第2章 在宅介護実態調査

## A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

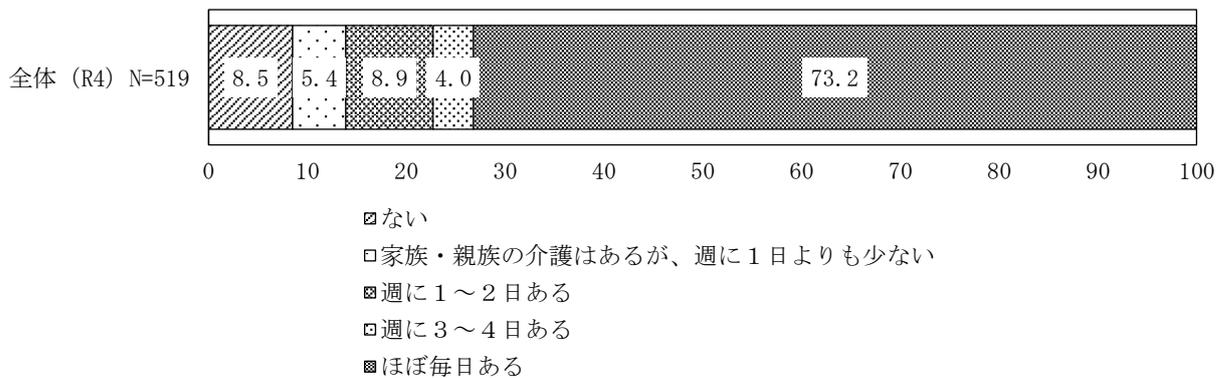
(問1) 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

家族構成については、単身世帯の割合が17.0%、夫婦のみ世帯が15.2%となりました。



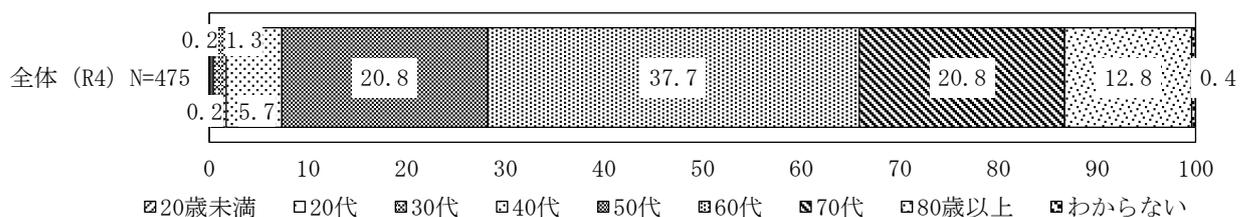
(問2) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

「ほぼ毎日ある」の割合が73.2%である一方で、「ない」は8.5%ありました。



(問3) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

60代の割合が37.7%と最も高く、次いで、50代および70代が20.8%が続いています。



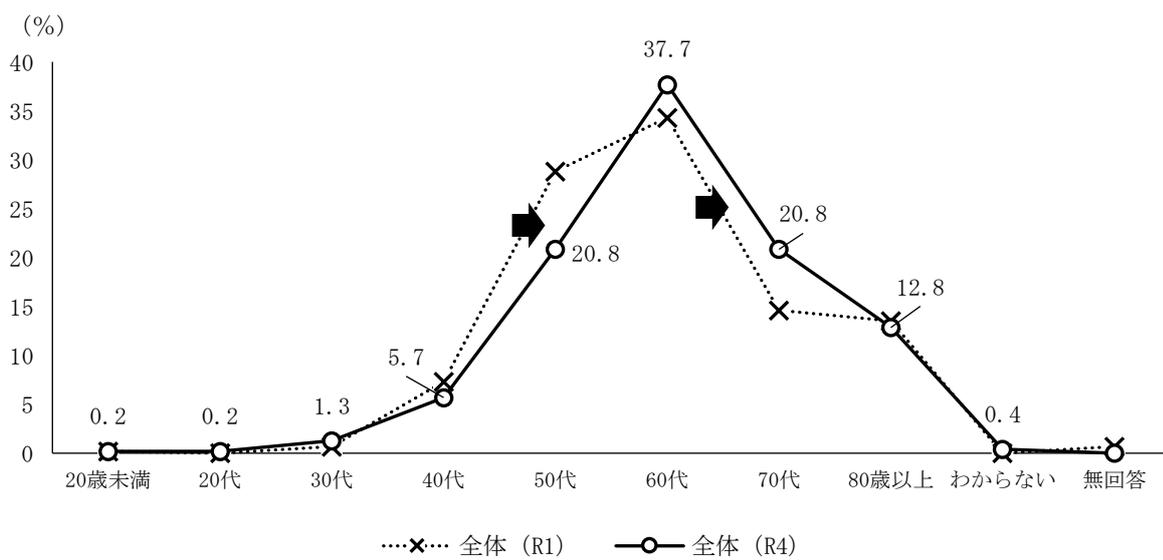
〔参考〕（問3）のR1・R4 調査比較

主な介護者の年齢を R1 調査と R4 調査で比較すると、年齢分布の山が時間の経過に伴って「右」（高齢化）へ移動しています（R1・R4 調査での比較なので、「3年」のタームでの移動）。

人口減少、高齢化の影響から、介護者の年齢も高齢化傾向にあります。

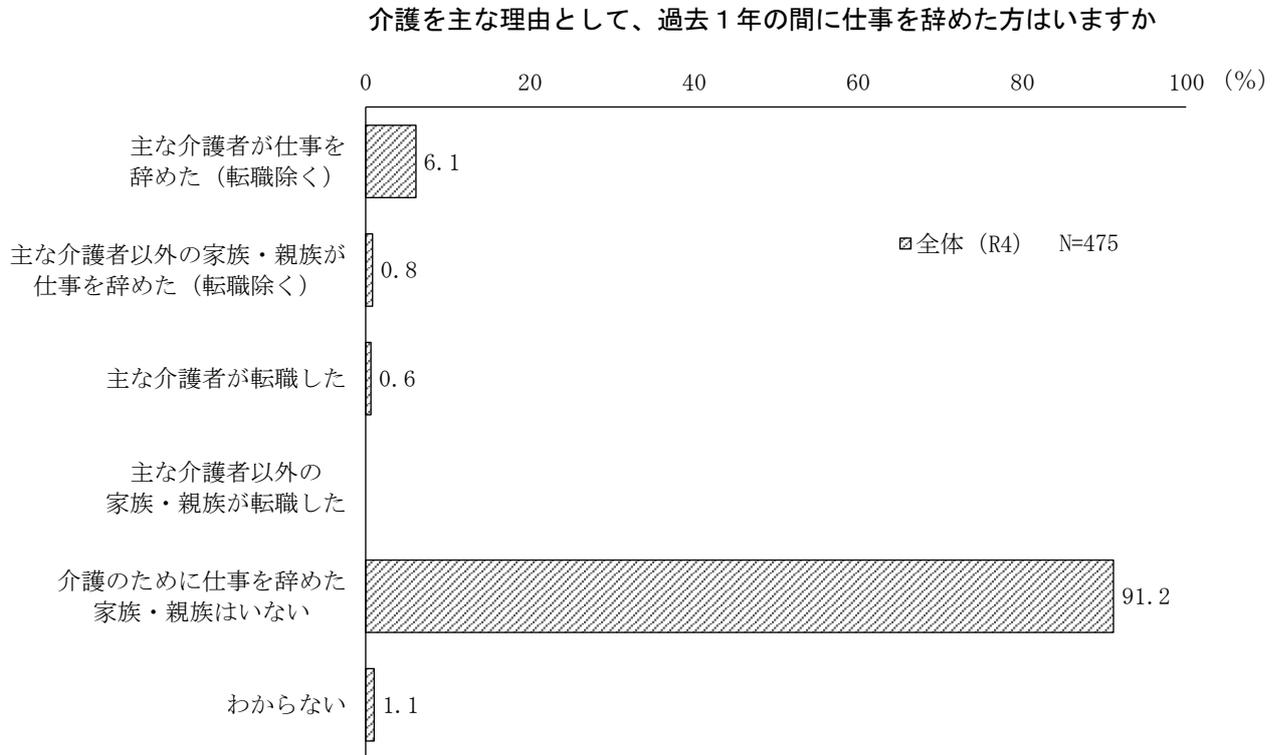
人口減少下において、介護の担い手を安定的に確保できる仕組みづくり、地域づくりが求められます。

主な介護者の年齢（R1・R4調査比較）



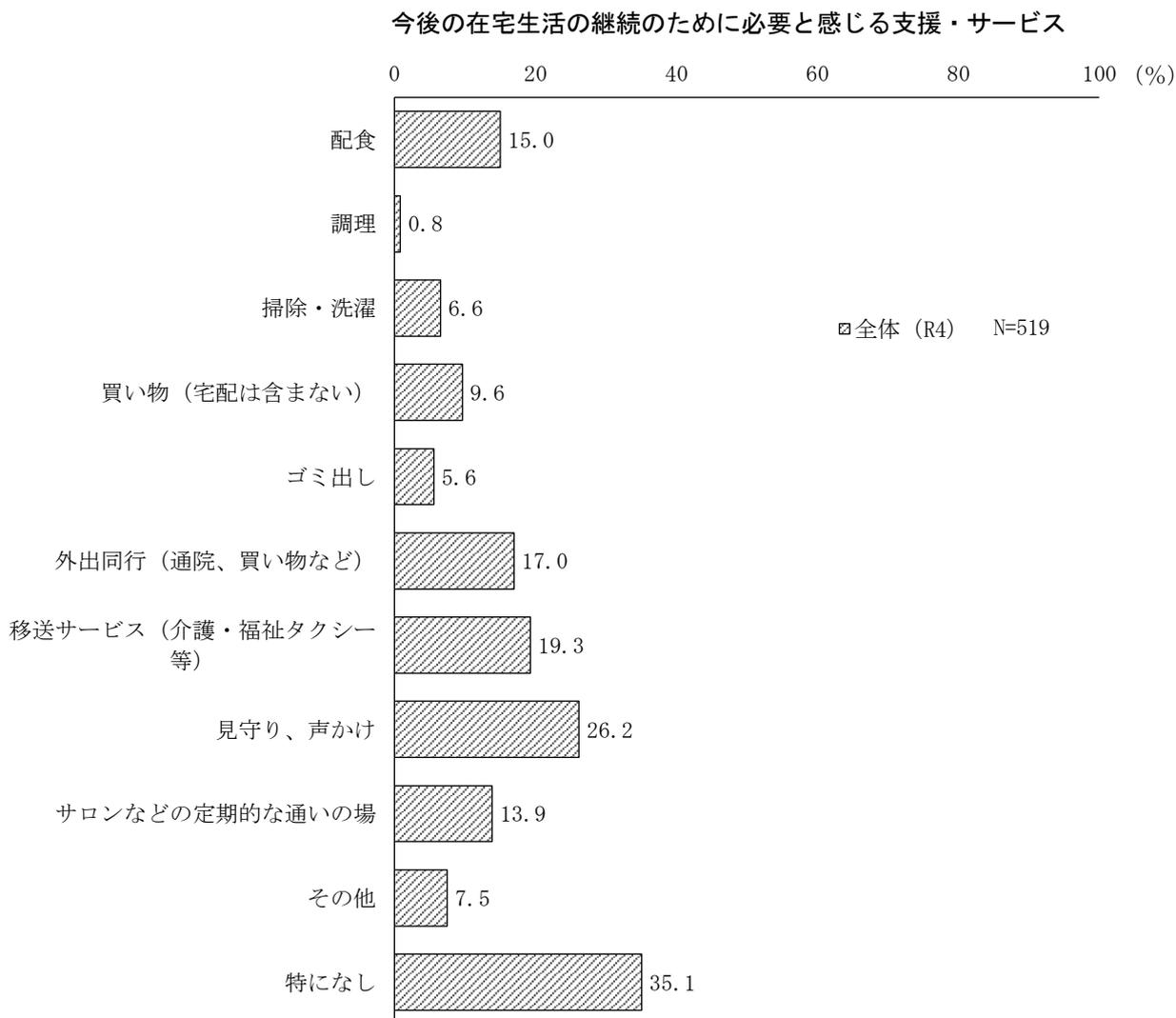
(問4) ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が、91.2%と高くなっています。



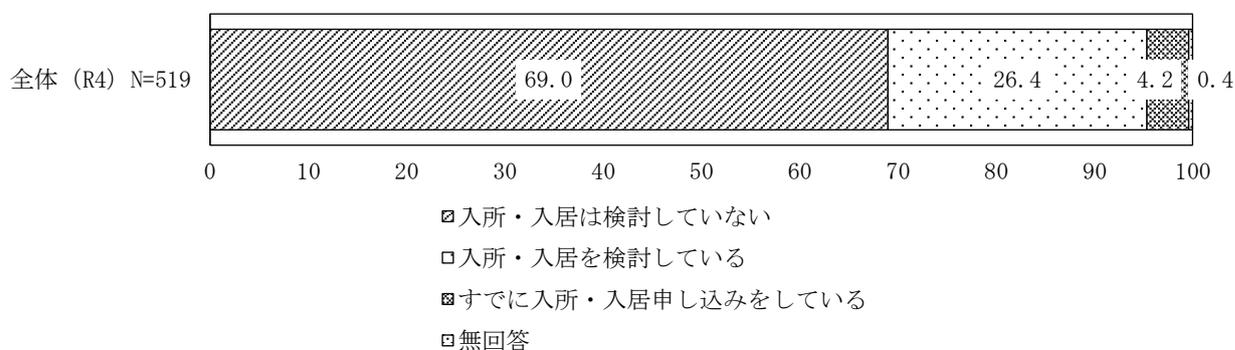
(問5) 今後の在宅生活の継続のために必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてご回答ください（複数選択可）

「特になし」を除き、「見守り、声かけ」が26.2%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」19.3%、外出同行（通院、買い物など）17.0%、「配食」15.0%と続いています。



〔問6〕現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

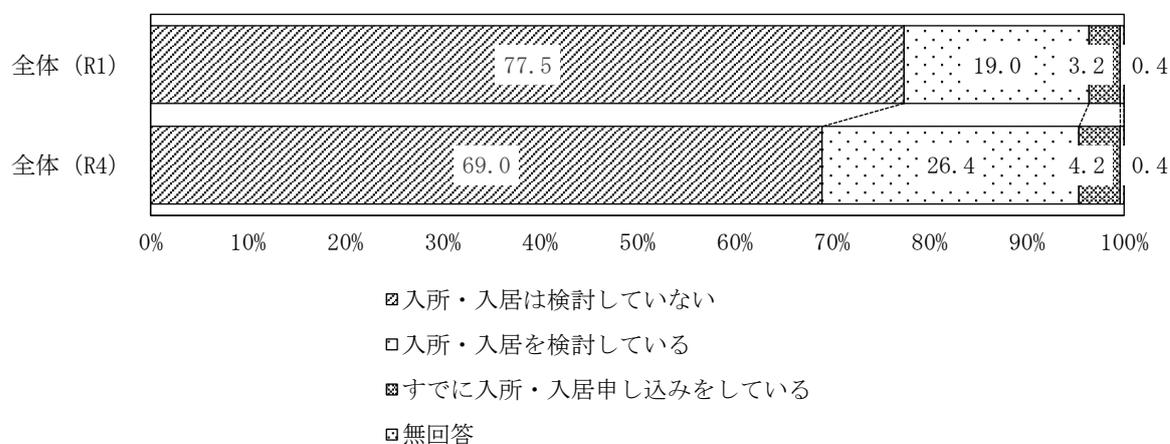
「入所・入居は検討していない」が69.0%となっています。「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合を合計した《入所・入居の意向あり》は30.6%となっています。



〔参考〕問6) のR1・R4 調査比較

「入所を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合を合計した《入所・入居の意向あり》はR1 調査においては22.2%でしたが、R4 調査では8.4%上昇し30.6%となっています。一方で、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、介護が必要になったり、認知症になった場合、51.1%が自宅で過ごすことを希望しています。

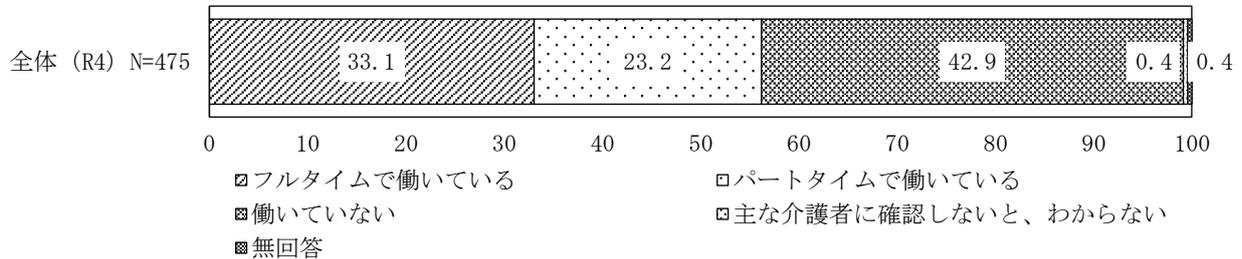
施設等検討の状況 (R1・R4調査比較)



B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

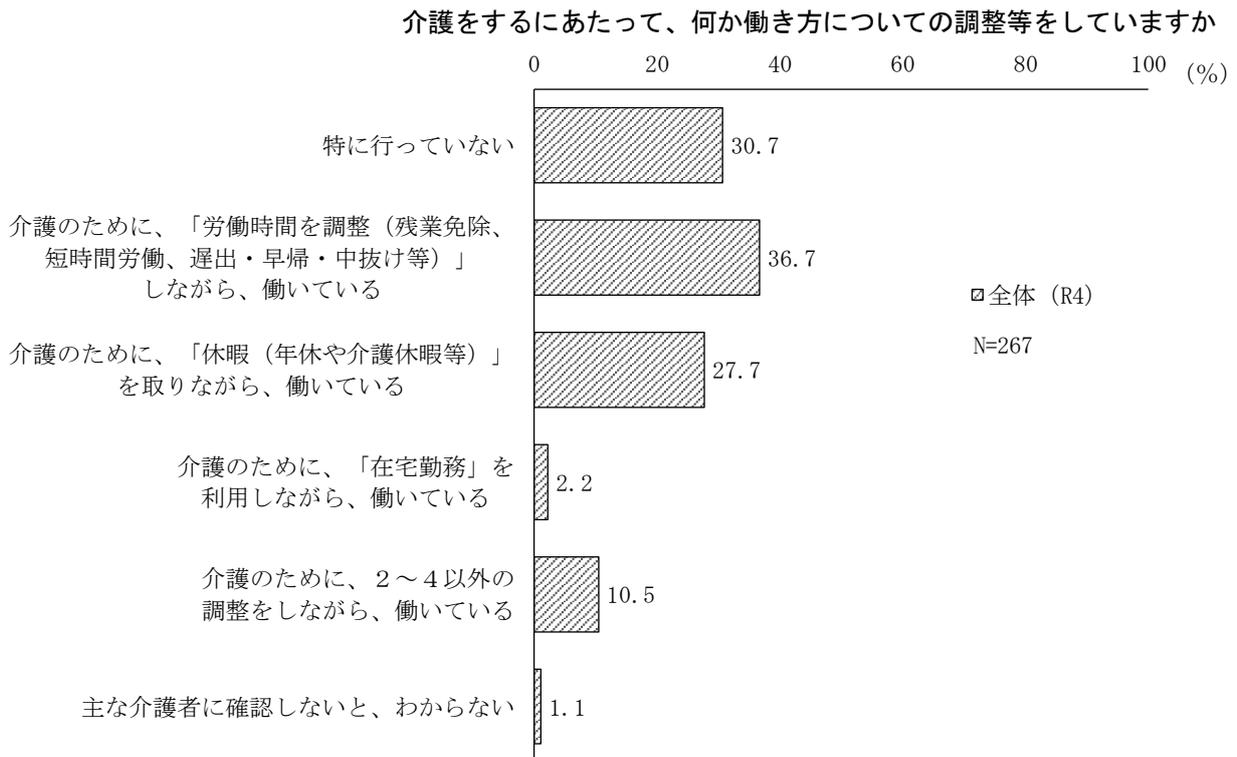
(問1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合計した《働いている》の割合は56.3%、「働いていない」が42.9%となりました。



(問2) 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

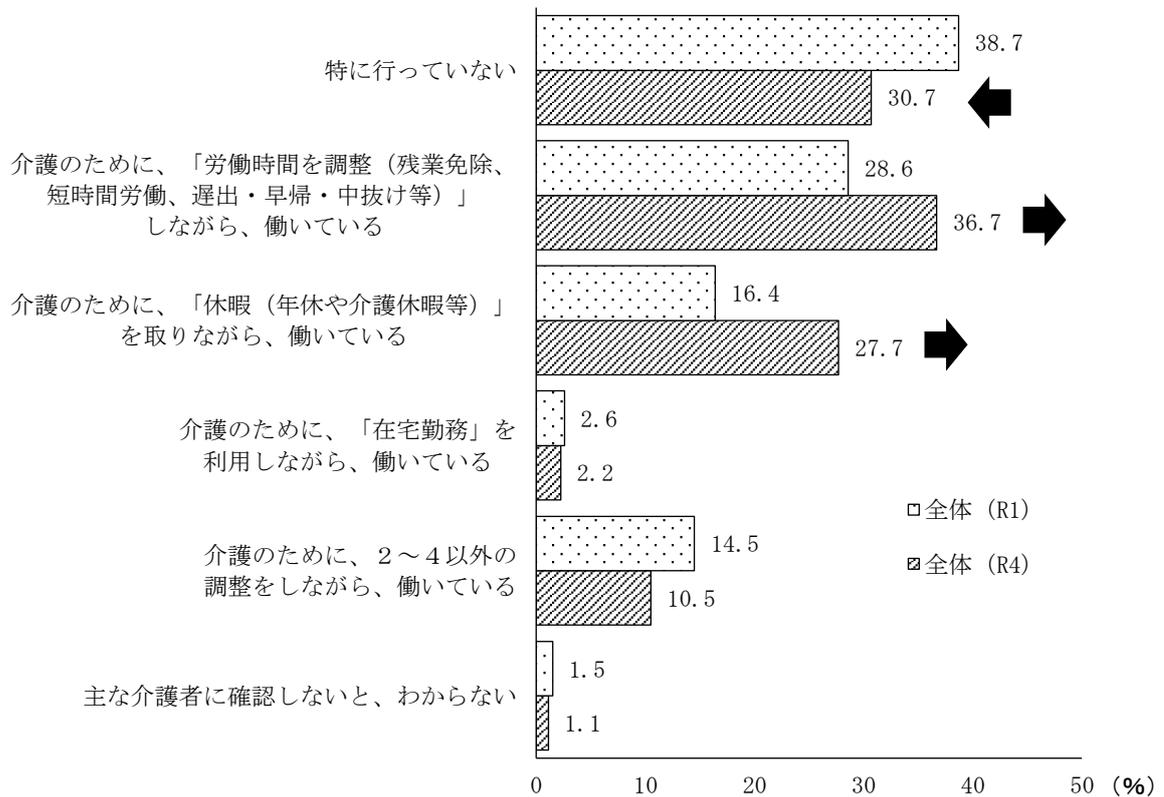
「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間労働、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている」が36.7%と最も高くなっています。



### 〔参考〕（問2）のR1・R4 調査比較

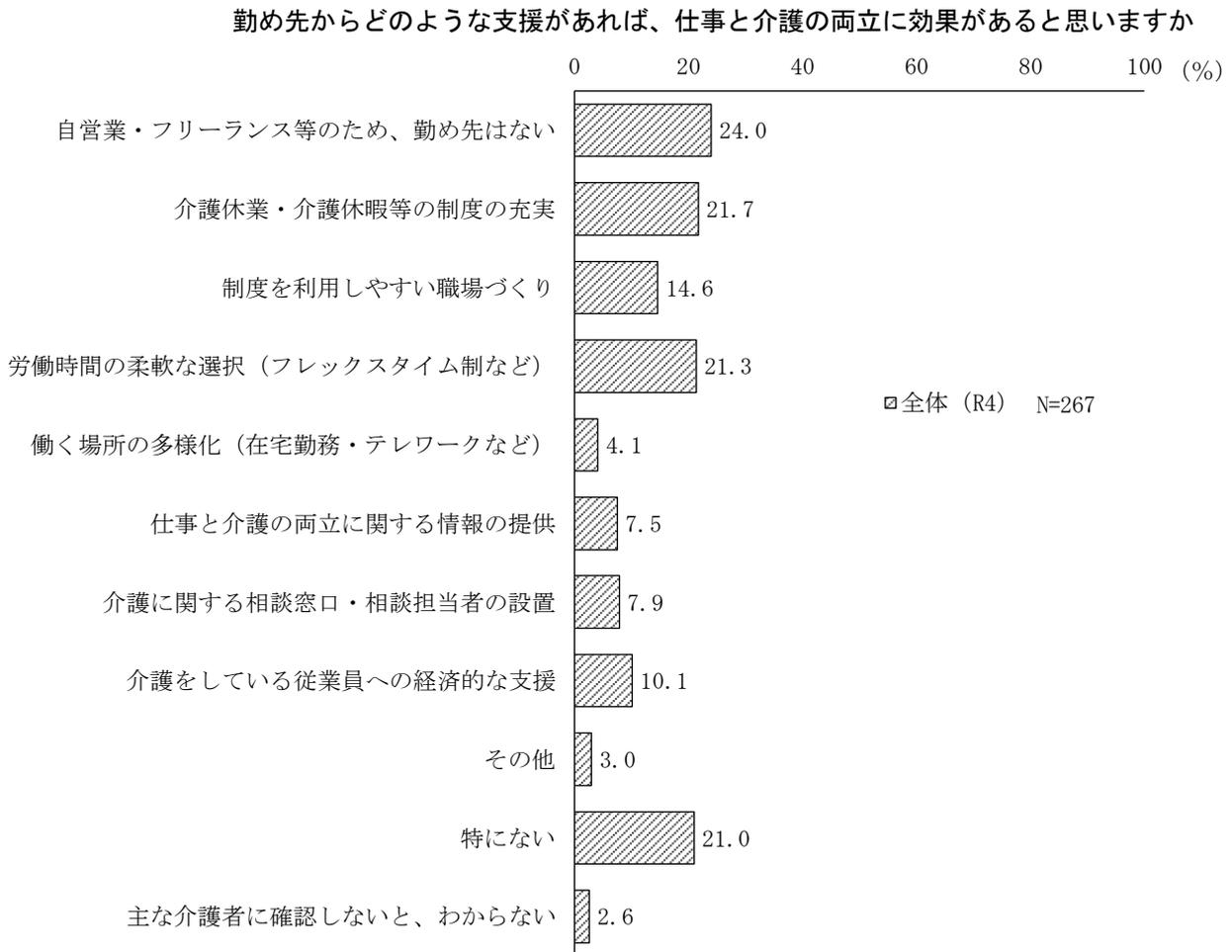
「特に行っていない」の割合がR1調査では38.7%でしたが、R4調査では8.0%減少し、30.7%となる一方で、『介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間労働、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』や『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』が増加しています。R4調査については、コロナ禍での働き方の調整が多分に影響していると考えられ、コロナ感染が一定程度収束していると考えられる次回在宅介護実態調査（R7 実施予定）を含めて継続的に実態を把握し、介護と仕事を両立させるための様々な制度が有効に活用されているか確認をしていく必要があります。

主な介護者の働き方の調整状況（R1・R4調査比較）



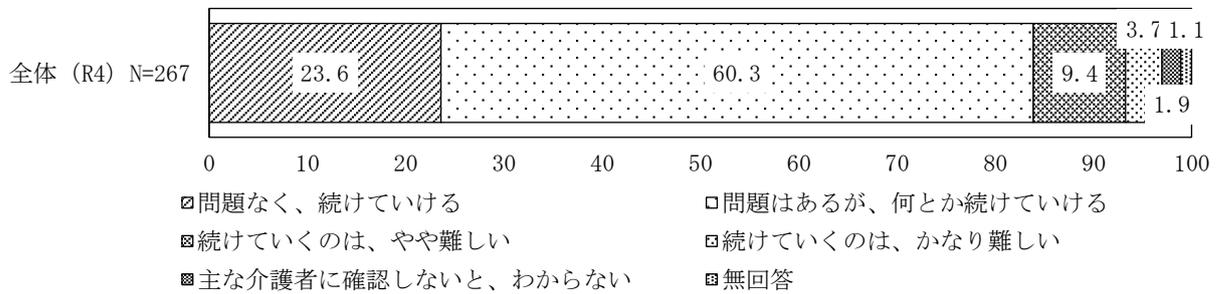
(問3) 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか  
(3つまで選択可)

「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が24.0%と最も割合が高くなっている一方で、会社勤め等の就労者に関する「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が21.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.3%と高くなっています。



(問4) 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

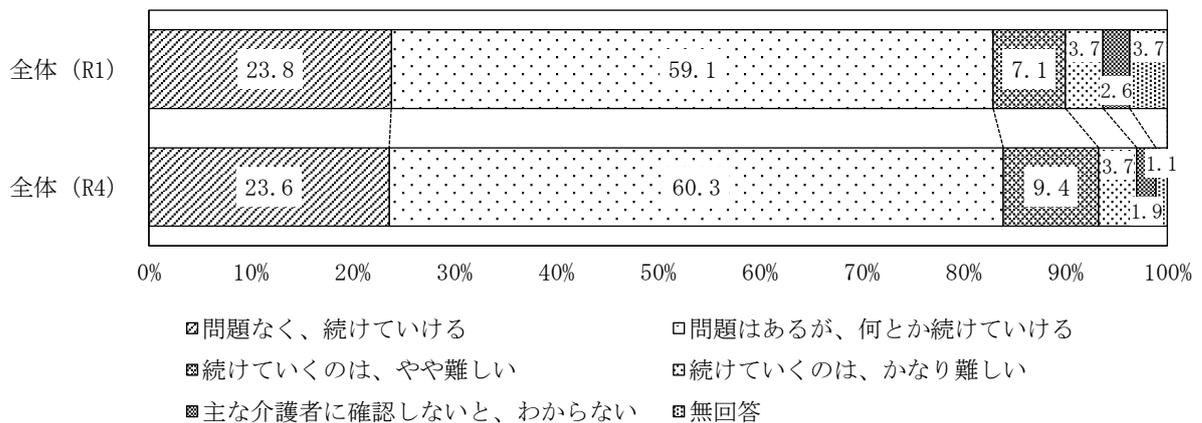
「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合計した《続けていける》の割合は83.9%となりました。



【参考】(問4) のR1・R4 調査比較

「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合計した《続けていける》の割合はR1 調査においては82.9%でしたが、R4 調査においては1.0%上昇し、83.9%となっています。

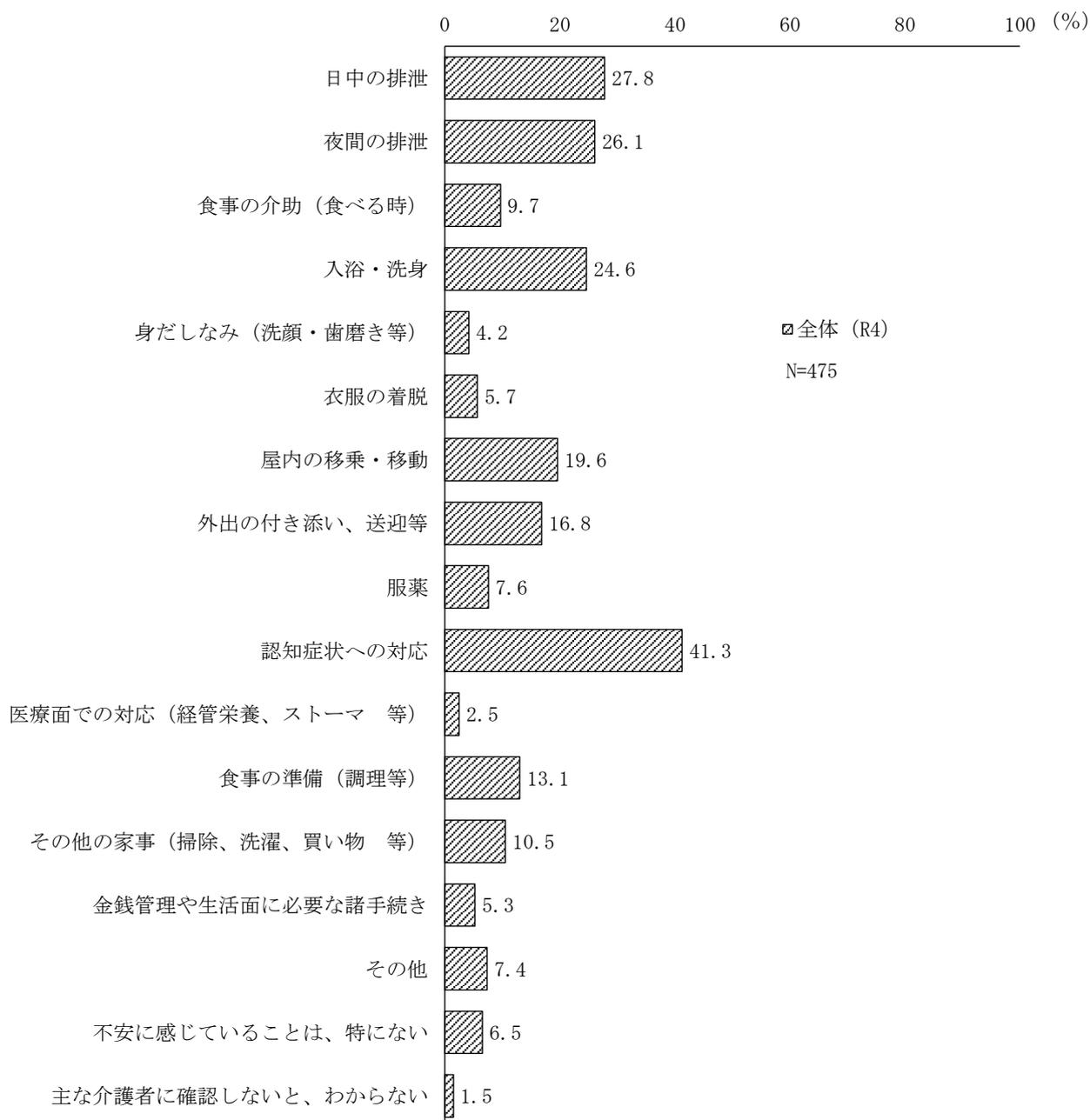
就労継続の可否 (R1・R4調査比較)



(問5) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

「認知症状への対応」の割合が41.3%と最も高く、次いで「日中の排泄」27.8%、「夜間の排泄」26.1%、「入浴・洗身」24.6%と続いています。

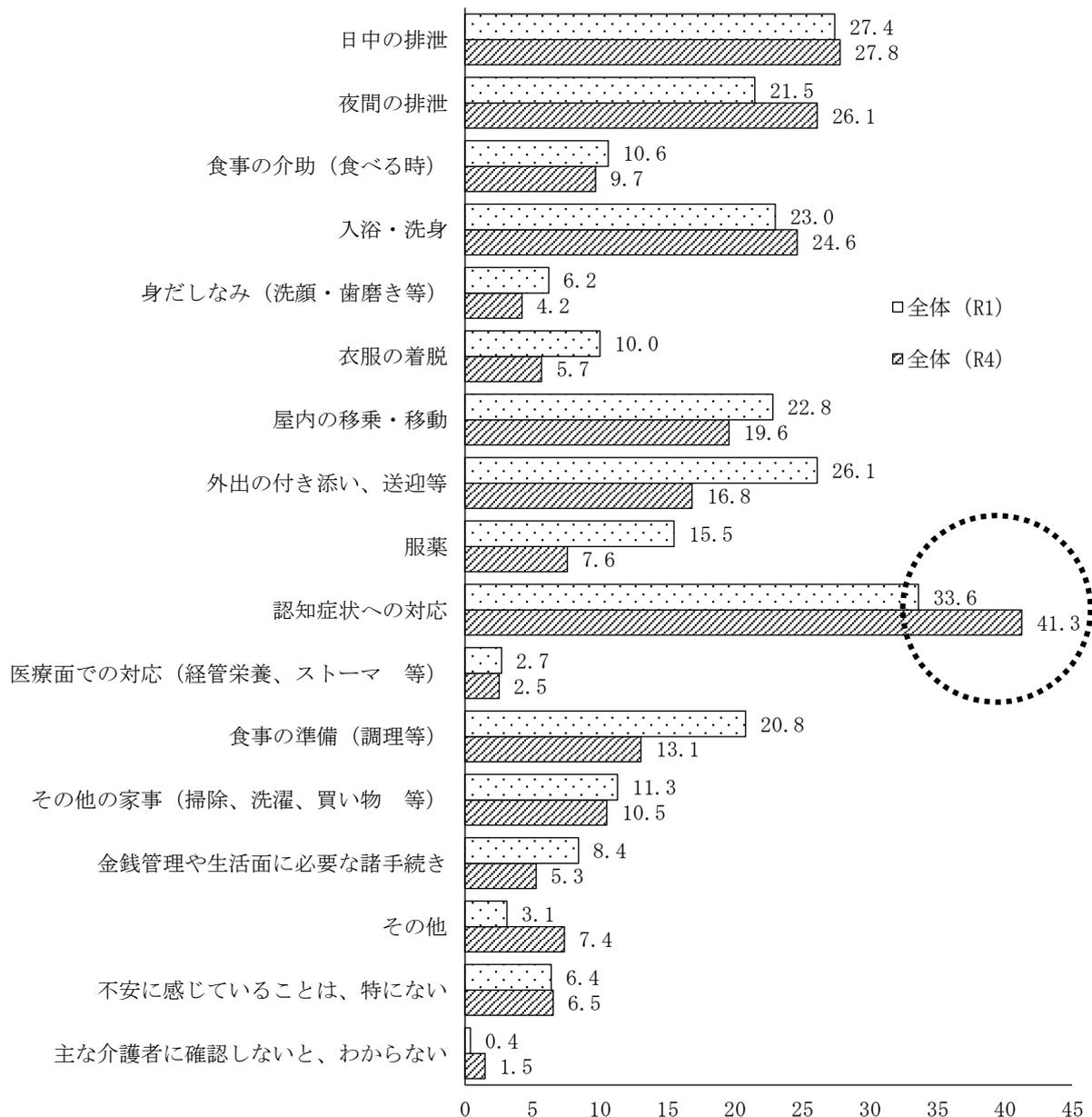
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等



## 〔参考〕（問5）のR1・R4 調査比較

主な介護者が不安を感じる介護については、R1 調査およびR4 調査ともに「認知症状への対応」の割合が最も高くなっていますが、R1 調査では33.6%のところ、R4 調査では7.7%上昇し、41.3%となっています。厚生労働省、都道府県、全国の市区町村ともに、認知症施策推進大綱をベースとして複層的に施策を講じており、家族介護の現場において認知症による問題がより多く見受けられるようになってきているものと考えられます。

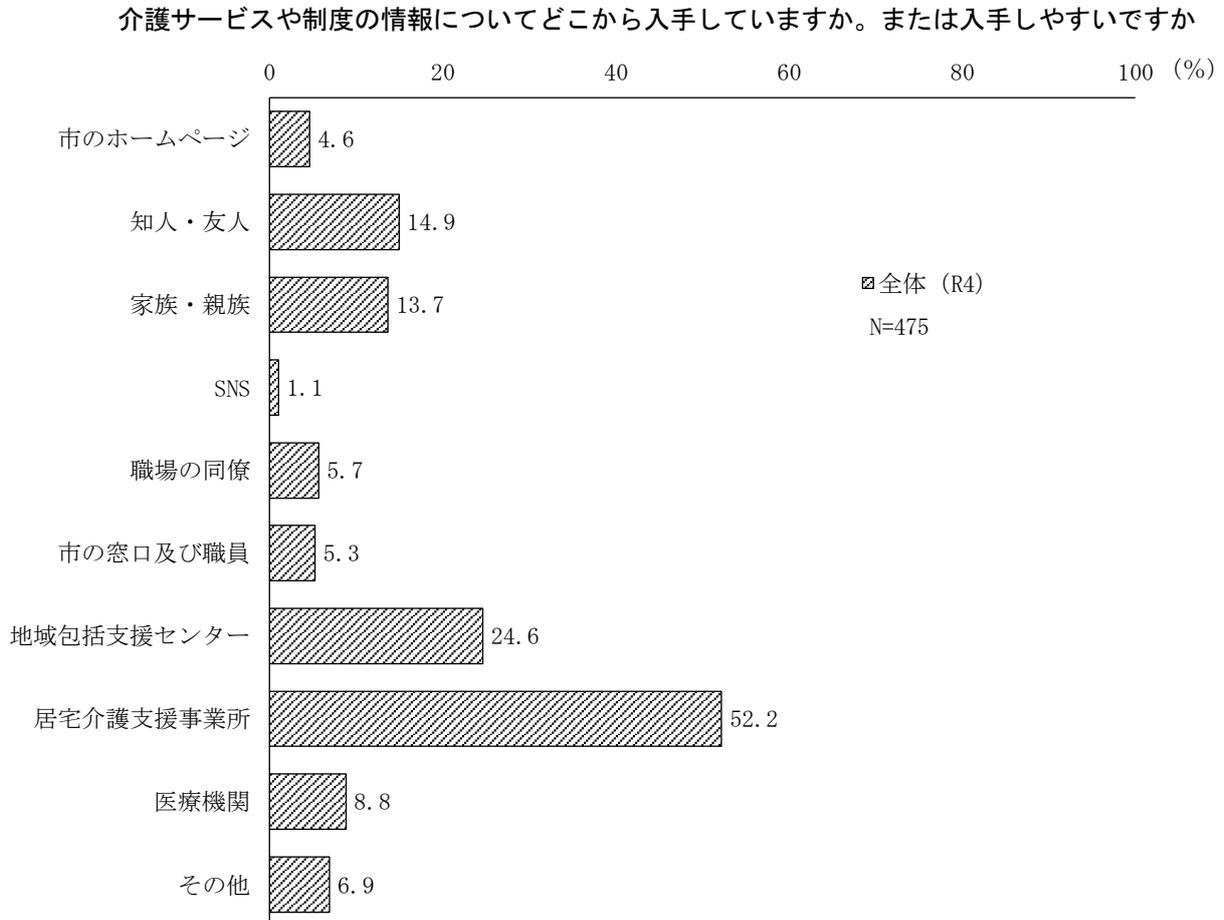
主な介護者が不安を感じる介護（R1・R4調査比較）



C票 主な介護者様にご回答・ご記入頂く項目

(問1) 介護サービスや制度の情報についてどこから入手していますか。または入手しやすいですか (2つまで選択可)

「居宅介護支援事業所」の割合が52.2%と最も高くなっています。次いで、「地域包括支援センター」24.6%、「知人・友人」14.9%、「家族・親族」13.7%と続いています。





資料編  
アンケート票





## 在宅介護実態調査アンケート票

&lt;認定調査員による聞き取り調査 郡上市&gt;

## 在宅介護実態調査 調査票

対象者の被保険者番号 [ \_\_\_\_\_ ] 調査員氏名 [ \_\_\_\_\_ ]

## 【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】(複数選択可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネージャー
5. その他

**A票** 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

## 問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

## 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問5、6を回答し、調査は終了です

問3～問6を回答し、B票へ

## 問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

## 問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

## 問5 今後の在宅生活の継続のために必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)についてご回答ください(複数選択可)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他
11. 特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

**問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）**

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票、C票へのご回答・ご記入をお願いしてください。  
「主な介護者」の方が同席されていない場合は、B票のみご本人（調査対象の方）にご回答・ご記入をお願いしてください。（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です。）

**B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目**

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

**問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）**

1. フルタイムで働いている
  2. パートタイムで働いている
  3. 働いていない
  4. 主な介護者に確認しないと、わからない
- 問2～問5へ
- 問5へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

**問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）**

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間労働、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

**問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）**

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

**問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）**

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

**問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）**

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助（食べる時）           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等）       | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

**C 票 主な介護者様にご回答・ご記入頂く項目**

※主な介護者様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

**問1 介護サービスや制度の情報についてどこから入手していますか。または入手しやすいですか（2つまで選択可）**

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 市のホームページ   | 2. 知人・友人     |
| 3. 家族・親族      | 4. SNS       |
| 5. 職場の同僚      | 6. 市の窓口及び職員  |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 居宅介護支援事業所 |
| 9. 医療機関       | 10. その他      |

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

郡上市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画  
在宅介護実態調査 調査報告書（令和4年度）

発行：郡上市

編集：郡上市 健康福祉部 高齢福祉課

〒501-4297

郡上市八幡町島谷 228 番地

TEL 0575-67-1807

FAX 0575-66-0157



